

第1回勉強会資料

第3部 武道ツーリズムの現況／事例紹介

- 事例1) BABジャパン／BUDOJAPAN.comの資料調査
- 事例2) True Japan Tour「侍忍者体験講座」
- 事例3) SAMURAI TRIP! 剣道体験ツアー
- 事例4) Bushido Japan 柔道体験
- 事例5) GOTOKU! Samurai of Culture 川 鹿児島
- 事例6) 秘伝「弘前の武術体験イベント」
- 事例7) 外国人武道家バーナードレスカッション
- 事例8) 「グランドマスター直伝」秘伝「油煙空手体験ツアー」

17

【事例2】True Japan Tour「侍忍者体験講座」



- 東京タワーに隣接する好立地(機会振興会館)の専用会場にて、主にライブ館向けに「待客系体験講座」を実施
- 海外から人気のある「サムライ(殺陣)」&「ニンジャ」というコンテンツを積極的にアピール
- 東京観光の一環として手軽に参加可能(各1時間、13,000円)
- インバウンド向けのナイトコンテンツが意外と少ない東京 → サムライ(殺陣)・テイシャウー開催も企画中

また、全国通駅案内士向けに「武道ツーリズム」ガイド養成講座も開催

※NPO日本文化体験交流塾
日本最大の通訳案内士団体(2018年時点、
1093名登録)
※秘伝2023年6月号記事掲載

パフォーマンス系武道の積極活用と全国通訳案内士との連携

19

【事例4】Bushido Japan「柔道体験」



- 運営会社：ワークプレイス株式会社（稲山純氏）
- 運営についてAirbnb利用者より日本での体験をしたこと、英語が話せること、海外旅行などに関連するAirbnb Experienceに特長として、インパクトの強い「茶道体験」を開始（2018年～¥90分 ¥13,000）
- Airbnb Experienceでは「レビュー」が必須
- 茶道体験「UFCファイトアール小見川道から学ぼう」（桑田川黒根市青葉区・宇治谷から急行で30分）※催行回数合計約60回／参加人数は90名超
- すみだ美術館にある**通常の道場**との時間帯に、体験を通して得られる**異なる価値**や**文化**などにも**異文化交流**あり、喜ばれている。
- Bushido Japanでは、その他【道・試斬・合気柔術&空手・剣道・居合道・流刃若火】を体験可能。休中、日本刀刺し込み体験も実施中。

通常の道場稽古に取り込む武道ツーリズム／SNSの積極活用

21

【事例6】秘伝武術旅「弘前武術体験イベント」

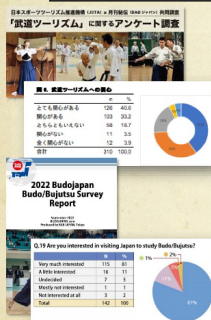


- 期日：2023年10月29日／30日
場所：青森県弘前市内各地下
主催：月刊「桜花」協力：修武堂
- 企画：塚原トコ子、剣先・佐々木小次郎、居合の指・林崎吉太郎と、中近世の剣豪たちが伝えた四流流を核とした
「侍隊史」
- 期間：秋・弘前市・北票堂・武家屋敷（弘前市を模した歴史伝統的建造物群）／高瀬村・高岡の高弘前藩史家宅
- 案内人の小山氏（ト）傳統継承者、青森県博物館学芸員 武家屋敷の境隈を案内することにより、武道史だけでなく観光資源としての価値を再発見！
- 桜花2023年4月号特集記事として掲載後、地元メディアでも後援し紹介（陸奥新聞2023年3月11日付文化面NHK青森放送局「おももりモリ」2023年4月22日放送）
- 地元古き所傳の文芸者をはじめ、「地域資源としての弘前城の復興の場」として

コア層における横展開の武道ツーリズム／地域観光資源の再発見・地元間の交流

23

【事例1】BABジャパン／BUDOJAPAN.comの資料調査



武道ツーリズム事業者に関するアンケート調査2020

- ・日本スポーツツーリズム推進機構(JSTA)との共同調査
- ・2021年2月実施
- ・日本国内の道場(約1000件)などから、315件の回答
- ・**武道ツーリズムへの関心: 関心がある74%**

※参考ページ
https://webhiden.jp/budo-tourism/enq/BudoTourism2020_Data.pdf

2022 Budojapan Budo/Bujutsu Survey

- ・2022年9月実施
- ・海外武術愛好家142人から回答
- ・武道ツーリズムへの関心:関心がある92%

(※書籍『武道ツーリズム実践ガイドブック』収録)

受け入れ側(道場)／体験側(海外武道愛好家)ともに関心は極めて高い！

18

【事例3】SAMURAI TRIP「剣道体験ツアー」



- 運営会社: 株式会社ワークフォース(代表取締役 永松謙徳氏)
- 「創造体験ツアーズ」2017年一開始
参加者: 300回以上 / 累計人数: 約5,000名
活動範囲: 367箇所 / 発行都市: 全国7都市
- 受賞歴
スポーツ文化ツーリズムアワード「スポーツ文化ツーリズム賞」(2019)
「観光庁賞」(観光庁賞) (2019)
SPORT FOR TOMORROW(2020)「スポーツ文化ツーリズム賞」(2020)
- 10名以上の個人から50名以上の団体までに対応
活動内容: 歴史・文化・自然・食・産業・防災・場所の条件を満たせば、
どこでも実施可能
- 町営道の空き時間(朝・昼間)を積極的に活用 / 新たな「スポーツ
」の機会を創出
- イベント(客)の需要に応えるための札などには柔軟に対応
- 顧客ニーズ(思い出のための写真撮影など)に応えるため、道営訪員制
は欠かせない
- 個人向け旅行客が利用するTripAdvisorなどを活用して集客、団体客
は同行旅行会社と提携

徹底した訪日旅行者(ライト層)目線に立ったツアー企画、催行

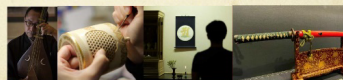
20

【事例5】GOTOKU「Samurai of Culture」in 鹿児島



- 運営会社：合同会社 GOTOKU
(運営：アレキサンダー・ブランドショー式)
- 鹿兒島の地400年続く「示現流」や侍文化を、外国人剣士目ざけプロモート
- 『Samurai of Culture』では、「侍の魂」と密接した「侍者文化」＝神道・仏教(宗門)・茶の道(儒教)・儒教(武家)・儒教(幕府・家元)(仙流)・刀剣(儒教)・武術(示現流兵法)※※※(自然流、薩摩刀流等も予定)を、総合的な「武家文化」として体験できるように、様々なプログラムを用意
- 「体験者は入門者にあらず、流派や文化を履修していたもの、理解者やサポーターになってもらう」

「古武道は、唯一、稽古を通して、400年前の人の動きと



古武術&侍文化を総合的な「武家文化」として提供

22

【事例7】外国人武道家パネルディスカッション



- [illegible]

外国人武道家たちの知見／武道アンバサダーの活用

24

第1回勉強会資料

【事例8】“秘伝”沖縄空手体験ツアー



- 沖縄空手主要4流派(剛柔流・上地流・小林流・琉球古武道)の基本と型を、範士9段以上のグランドマスターが直接指導。合わせて、沖縄空手史跡巡りなども開催予定(アゲシオジャパンとの共催)
 - 国内向け、海外向けの2本柱で開催予定
 - 空手発祥の地というブランドも利用し、道場周年イベントや合宿などの誘致も可能では?
- 書籍『武道ツーリズム実践ガイドブック』&資料DVD『武の聖地・弘前 武術体験の旅』もご参照ください。

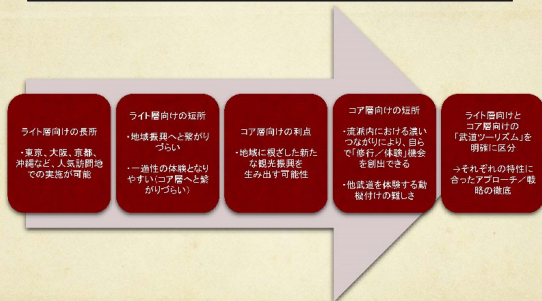
25

The FUTURE of BUDO TOURISM

第4部 今後に向けての課題／提言 「武道ツーリズム」の再定義と発信

26

提言1 「ライト層／コア層」の明確な区分



27

提言2 「ハブ機能」としての東京の役割

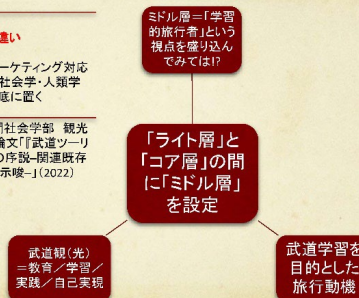


28

提言3 「武道ツーリズム」の再定義

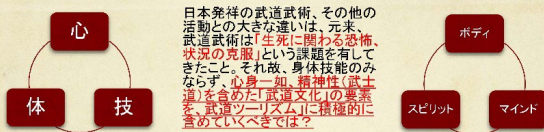
日本と国外での「武道ツーリズム」観客の違い
＝旅行者像の違い
日本: 観光旅行者 → マーケティング対応
国外: 学習的旅行者 → 社会学・人類学的視点から「武道観」を根拠に置く

引用: 流通科学大学 人間社会学部 観光学科 山川拓也准教授 論文『「武道ツーリズム」の再定義に向けての序説-関連既存研究の国内外比較からの示唆-』(2022)



29

「武道ツーリズム」への提言 まとめ



コア層へとつながる「武道ツーリズム」

武道を目的とした訪日観光客の誘致＝「武道ツーリズム」の推進
旅行者動機を「武道を知り、学び、実践し、教えることを通した自己実現」へ!

武道ツーリズムに「サムライ／武士道」という観点を盛り込むことで、より生活(文化)と結びついた新たな日本発の武道スポーツの価値を世界へ提示できるのでは?

30

ご清聴ありがとうございました

令和5年7月12日
BABジャパン／月刊秘伝

31